

メンテナンス塗装について【屋内】

屋内は使用状況により大きく異なりますが、紫外線や雨水の影響を受けませんので比較的長期の間隔でのメンテナンスが可能です。約4～5年が補修塗りの目安時期となります。

再塗装方法：表面の汚れ落とし、軽くサンディングした後、全体を1～2回塗りする。

【工程】

下地調整 — 上塗り — 乾燥 *劣化の状態に応じて1～2回塗りを行ってください。

【下地調整方法】

1. 汚れ、付着物、油分などをしっかり取り除く。
2. 必要に応じてカビ取り、漂白洗浄。しっかり乾燥させる。
3. 表面を木目に沿って軽くサンディング(#240～#320)、塗膜脱落部分と周辺は入念に行う。
4. サンダー屑、ゴミ、ホコリをしっかりと取り除いて木材表面をきれいにする。

※メンテナンス塗装は下地の状態により仕上がりが異なりますので、事前にご確認ください。

※セトール BL デコールの再塗装の場合、同じセトール BL デコールでのメンテナンスのほか、色を濃くしたくない場合はセトール BL ユニトップまたは水性フロアーでの上塗りが可能です。着色面で部分的な色落ちがある場合、必要に応じてタッチアップ（下塗り）をご検討ください。

※セトール BL ユニトップや水性フロアーのクリアー塗膜の上から、セトール BL デコールを塗装することは可能ですが、浸透性が発揮できず発色にも影響してしまうためおすすめはできません。

【屋内メンテナンス塗料 既存塗膜別推奨品一覧】

メンテナンス 既存塗膜	セトール BL デコール (着色 薄い塗膜)	セトール BL ユニトップ (クリアー 薄い塗膜)	水性フロアー (クリアー 中程度の塗膜)
セトール BL デコール (着色 薄い塗膜)	○	○ クリアーで上塗りする場合	○ クリアーで上塗りする場合
セトール BL ユニトップ (クリアー 薄い塗膜)	△ 下塗り(着色)として	○	○
水性フロアー (クリアー 中程度の塗膜)	△ 下塗り(着色)として	×	○